

## かわら版

第269号



Quality of Life

日本予防医学協会

2022.4発行

## インフォデミックって、どげなこと？



うわっ、カタカナ！と拒否反応が起きそうです  
が、新しい言葉が次々と生み出されますね。  
インフォデミックは二〇二〇年に衆議院の国会答弁  
でも狙上(そじょう)にあがっています。

そこで今月は

## 『インフォデミック』に

関するお話です。



## ★世界保健機関(WHO)も使っています★

インフォデミックはインフォメーション(情報)と  
パンデミック(感染症の世界的流行)を合わせた造語  
です。

新型コロナウイルス(Covid-19)

の世界的流行と同時に、真偽が定かでない様々な情報  
もSNSを通じて世界中に拡散されました。

エンタメとしては面白い都市伝説や陰謀論のようなも  
のから、医師や研究者が語る最新情報まで、日々情報  
の洪水に押し流されつつあるのがわたしたちの現状で  
すね。

インフォデミックを引き起こす元となる情報は、悪意  
あるデマから情報の誤った解釈までグラデーション  
(濃淡)があり、一見すると判断に迷うことが多々あ  
ります。

## ★たとえば・・・★

最近の例を一つお示します。



「二〇二二年はインフルエンザが大流行」  
という見出しのニュースが昨秋躍ったように  
記憶しています。これは二〇二一年九月に日本感染症  
学会が「二〇二一〜二〇二二年シーズンにおけるイン  
フルエンザワクチン接種に関する考え方」で「インフ  
ルエンザワクチンの積極的な接種を推奨」した提言に  
由来します。  
[https://www.kansensho.or.jp/modules/guidelines/index.php?content\\_id=44](https://www.kansensho.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=44)

その提言の中に「英国政府は、今年のインフルエンザ  
は早期に流行が始まり、昨年流行がなかったために例  
年の一・五倍の大きさの流行になる可能性があるとし  
て、インフルエンザワクチン接種を呼び掛けていま  
す」とあります。昨秋のニュースはおそらくここを切  
り取って「二〇二二年はインフルエンザが大流行」と  
いう見出しになったのだらうと思います。

そして今、

二〇二一〜二〇二二年シーズンも前年と同様、現時点  
では流行していませんので「日本感染症学会がまちが  
った」と、はやガテンした人もいるでしょう(わたし  
もその一人です)。

しかしこの提言は、流行の可能性に言及し、新型コロ  
ナウイルス感染拡大時に医療現場の負担を減らすため  
にもワクチンで予防できる疾患には積極的な接種を、  
と述べています。

「二〇二二年はインフルエンザが大流行しますよ」と  
喧伝しているわけではありません。

毎日大量にあふれるニュースのヘッドラインだけを見  
ていると、勘違いや誤読も増えてしまいますね。

## ★インフォデミックの大海原を泳ぐには★

ではわたしたちは何をどうすればいいのでしょうか。

学生時代の初心に戻って、基本的なことを  
認識し直すことではないでしょうか。

- ・ 事実と推測を分けて考える
- ・ 引用や参考など二次情報ではなく  
一次情報(原本)を確認する
- ・ 不確かなことは発信しない

また、権威ある新聞やネットニュースでも誤った解釈  
がありうることを構えることではないでしょうか。科学  
的な知見とかエビデンスと言われても鵜呑みにできま  
せん。そもそも科学は日進月歩ですから、今日の常識は明日の非常識かもし  
れません。

かと言って、何もかも疑っているのは  
予防活動もままなりません。

何か疑問を持ったら、厚生労働省や  
世界保健機関(WHO)はどのような  
見解かこまめに調べることではないで  
しょうか。

withコロナとともに、withイ  
ンフォデミックで、落ち着いた生活を  
心がけたいものです。【Hm】

毎月タイムリーでホットな情報を無料の  
メールマガジンにて発信しています。

健康づくりかわら版

検索

